市民連合

山梨 ぐんないニュース

第 36 号

2026 年 8 月発行

発行　市民連合 ぐんない

共同代表　　知見邦彦

　　森山正男

7/20 大月市民会館 市民連合ぐんない主催講演会　講師；知見邦彦代表

「大月市は人口減少から 財政危機へ 再生どうする」 60人参加



7/20、市民連合ぐんない主催講演会「大月市は人口減少から財政危機へ再生どうする」開催。講師の知見邦彦代表の講演内容のポイントは以下の通り。

山日新聞は 5 月以降、山梨県の人口減少を繰り返し報道、その中で大月市の減少が際立っていると再三にわたり報道した。大月市の人口は 2000 年頃と比較すると約 4 割減少、事業所数・従業員数も 3 割減少した。出生数の減少も顕著で 2024 年は出生数 44 人、前年から 30%以上減少した。「人口戦略会議」は 2024 年、大月市を「消滅可能性自治体」とした。根拠として、2020 年から 2050 年までに 20～30 代の女性人口が 50%以上減少することをあげた。

企業、従業員は 2001～2021 の 20 年間に事業所数が 2000 から 1300 に、従業員が 15 千人が 1 万人に減少した。それらの影響が個人市民税と法人市民税に現れ、基準財政収入額は、2000 年代の約 59 億円から 2024 年には約 40 億円に減少した。

固定的出費が 8～9 割を占めるようになり、インフラ整備など必要な出費が滞るようになっている。さらに問題なのは、人口減少をくい止める、特に 20～30 代の女性人口を増加させる政策が実行できず、その結果、人口減少が加速してきていることが最大の問題になっている。

大月市が人口減少から財政危機に陥っていることを多くの市民は知らないだろう。市民が現状と原因をつかみ再生に立ち上がる時がきている。遅くはなったが自治基本条例（市民参加の仕組みを決める条例）を制定し、先進例に学び、問題点と要求をを調査し、子育て世代との対話から始めよう。2007 年からの「大月を良くしよう市民の会」の活動を参考に市民を代表する市民組織を作ろう。

参加者からの質問・意見

・女性の人口減少問題、日本全体を見て、どういう原因で減少しているのか？
・東京と地方の人口格差は、国が検討するべきでは。
・自治会役員のなり手不足。地域の力が弱まっている。
・地域の力、大月市民の力が弱まっている。
・地方債は本当に必要なのか？　なくなれば良いと考えるが?
・大月はどうなっていくのだろう？ 心配している。市長、議員は知恵を出してほしい。市民はバックアップする。
・「大月を良くしょう市民の会」の新聞100枚もらって配布していた。市民と語り合える会、映画の会、講演会もやってきた。地域の力をつけることが大事。
・地域のリーダーはどうやって決めるのか
・東京と地方の人口格差は、国が検討するべきでは。大月で働き、子ども産んで女性が働くことが基本である。
・80歳台の高齢者ばかりの崩壊集落だが、住み続ける。「あきらめないこと」が大事。地方交付税を増やす等の国の政策が必要。
・自治会役員なり手不足。地域の力、弱まっている。市役所の職員がなり手となるのはどうか?
・市民運動がボランティアになるのは良くない。市民から湧き上がり、5～10年かけて、市民運動を育てることが大事ではないか。
・市の行政と市民の信頼関係。信頼を積み重ねていくことが必要。
・市役所の人が、市民運動をどうみているのか?の問題がある。
・「大月を良くしょう市民の会」は、みんなが信頼できる市民運動だった。
・地域のみんなで話し合うのは夢でなく、目標である。地域の力をつけることが大事。
・自治基本条例で、リーダーは地域の区長なのか、公民館長なのか?
・今回の講演会が、上野原の市民運動のきっかけになれば良い。
・大月で、市民の健康の取り組みを２６年やっている。緊急搬送の救急車に乗り、24時過ぎると帰りの足がタクシーしかない。現金をもってないと帰るに帰れない現状がある。いざという時の対応が必要になる。生活保護者に対して、行政サポート必要。
・男女共同参画推進委員の一人として発言。大月市に女性議員誕生する会で、出張所にポスター貼らして欲しいと頼んだが断られた。本来、行政がやるべきことを協力して断られる。どこに相談したら良いのか?
・人口減少問題は大月だけの問題ではない。マインドリセットが必要だ。
・まちづくりは人づくりだ。小さな会話から取り組みたい。
・市役所をどのように、動かしたか？　教えて欲しい。

「津久井やまゆり園」事件から 10 年、なくならない“優生思想”

7/12 ギャラリーカフェ乎奈（カナ）で学習会 「はびこる、生産性のものさし」

7/12　ギャラリーカフェ乎奈（カナ）で久保田公子さんによる２回目の優生思想をめぐる問題の報告があった。久保田さんは「生産性」のものさしで人間に優劣をつける思想を乗り越え、差別のない社会をつくるにはどうしたらいいのか」と問いかけた。共同通信の知的障がい者へのアンケートによると、9 割が「事件や教訓が風化」と回答、障がい者の暮らしを地域へ移す施策へ不安の声が強い、という実態がある。

報告に刺激を受け、自分の考えをまとめてみた。考えてみれば、サラリーマンの職場では「生産性」が飛び交う日常がある。資本主義の企業で利益を生む生産性を否定したら立ち行かなくなる。企業が利益を挙げ、GDP の増加が国の目標となる。それに抗うのは難しい。山ゆり学園の職員と普通の労働者は地続きだともいえる。

差別をやむを得ないものとする事件が「やまゆり事件」の後に続いた。2018 年の杉田水脈の「同性カップルは子供を作らないから生産性がない」発言、2020 年の「高齢者は社会の負担」との安楽死事件、コロナ禍での命の優先順位：生産性の高い人優先等。やまゆり園の鎮魂モニュメントに献花に訪れた、ダウン症のある弟をもつ大学院生は、「10 年で障がい者への差別が減るどころか、公で言ってもいいという空気を感じるようになった」と。

「差別のない社会をつくるには」との問いかけにこたえるには、経済的な変化との関係から考えざるを得ない。世界人権宣言や憲法で、すべての人は自由で尊厳と権利について平等とされているのに、逆の動きが強化されたのは、主として経済的要因・圧力をおいて他には見当たらない。「差別を強める社会をつくってきた」のは次のような経済（システム）の要請だった。

1940 年代後半
英米を中心に新自由主義政策が強化。福祉国家を非効率と批判、自己責任を強化
1990 年代
バブル崩壊→雇用不安→成果主義導入
1995 年
日経連「新時代の日本的経営」→雇用形態の分化、非正規労働者増大、
1990 年代後半から 2000 年代
規制緩和、民営化、労働市場の流動化、「勝ち組、負け組」流布
2008 年
リーマンショック、社会的不安が弱い立場の人々への攻撃転嫁など

ケアー労働者と差別される労働者が低賃金、将来不安と分断をはねかえしていく過程で、仲間がひろがり、差別のない社会をつくる運動につながっていくのでは。

（知見）


憲法守れ！
スタンディング
高市改憲
絶対に
許さない！
@都留
<ご案内図>
この辺
日時：８月５日（水）17時~18時
場所：赤坂交差点
富士急行線赤坂駅徒歩２分
<今の憲法を守りたいと思う方はどなたでもご参加ください>
！！！飛び入り参加大歓迎！！！


ちちをかえせ
あの静寂が忘れえようか
へいわをかえせ
上野原で
スタンディング
込めたねがいを忘れえようか
にんげんをかえせ
泣きながら群れ歩いた裸体の行列
こどもをかえせ
としよりをかえせ
ははをかえせ
下敷きのまま生きていた
峠三吉　原爆詩集から
原爆の、反核の、戦争の、平和の
詩の朗読会を行ないます
コールはありません
手ぶら参加自由、プラカード自由、
途中参加、途中退出自由です
会にふさわしい詩の持参大歓迎
小雨決行、参加費無料
ココ
時　2026年8月6日（木）
午後 6:30~7:30
場所　山梨県 上野原市
上野原駅 南口 ロータリー
主催　上野原デモ スタンディングのつどい


はるよし と ししょー の
わー!もう疲れちゃった!ここらで一息つきましょ!!
生活のモヤモヤやデモのアレコレなど
みんなで気軽に話すばしょ
途中参加・退出OK!
お子さんと参加OK!!
セクマイフレンドリー
富士吉田と甲府スタンディンコ
呼びかけ人の2人だよ
軽食・飲み物
持ち込み可
エレベーター・多目的トイレ
駐車場あり
情報保障
UDトーク・筆談
ゆった~り過ごすプチ企画
ししょーの部屋14:30~
ぶち移動図書館あり
積読や手芸など持参可！
8/9 (日) 16:00-18:00
アフター会あり
笛吹川フルーツ公園
くだもの工房2階ワークショップ室


戦争ダメ!!スタンディング
@大月
武器で平和は守れない
8/17 (月) 17:00~18:00
国道20号線 大月橋東詰交差点
雨天中止
手ぶらOK
ちょっと参加OK
おひとり様OK
大月スタンディング実行委員会